

平成21年度 広域地方計画の関係予算について

1. 広域地方計画先導事業について

広域地方計画先導事業は、広域地方計画に関わるブロック独自の地域戦略について、地域に根ざした行政、経済主体の実践活動を通じた実現が図られるよう、地方公共団体や経済団体等による地域発意に基づく先導的なソフト事業の立ち上げ支援を行うもの。

- (1) 京都舞鶴港 - 環日本海ゲートウェイ機能強化事業 19百万円
(京都舞鶴港振興会(京都府等))
- (2) ワールド・ヘリテッジ・ルート・オブ・ジャパン(W・H・R・J) 15百万円
(歴史街道推進協議会(近畿2府4県等))
- (3) 「農山村と都市部のブリッジ」プロジェクト 10百万円 (奈良県)

2. 広域ブロック自立施策等推進調査費について

広域ブロック自立施策等推進調査費は、地域の主体性や地域からの発案を重視し、広域ブロックの自立的な発展に資する国土づくり、地域づくりに関する施策等を実施するために必要な調査を多様な関係主体の参加のもとに行うことにより、国と地方の連携の効果的な推進及び地域の独自性を最大限に活かした国土の利用、開発及び保全に関する政策の実現に資することを目的としています。本調査費は、国土交通省に一括して計上し、実施の段階で必要に応じ各府省に移し替えの上使用することができます。

- (1) 関西地域のプロモーション機能の整備に関する調査 34百万円
(経済産業省・国土交通省)
- (2) 関西地域の協働によるCO2削減及び資源循環圏の構築に関する調査 35百万円
(環境省・経済産業省・国土交通省)